

## 実りの秋・稲刈りシーズン到来！ 西尾市で「コシヒカリ」収穫、本格化



8月下旬より稲刈りが本格的にスタートします。

西尾市では「コシヒカリ」と「あいちのかおり」の2品種を主に生産しており、『耕畜連携』を推し進め、有機質肥料を利用して安全・安心なお米を作っています。



市内生産量の4割を占める「コシヒカリ」の収穫は8月25日頃から始まり、市内全域で一斉に収穫が本格化します。その後、9月下旬より「あいちのかおり」の収穫が行われます。

### ■今年の作柄

梅雨明け後の高温による高温障害が心配されますが現在のところ順調に生育しており、収量は平年並みを見込んでいます。

8月下旬から9月上旬にかけて、市内全域ではこのような収穫風景を見ることができます

### ■収穫風景 取材対応日■

【日時】8月27日(木) 午後13時30分集合

【場所】JA西三河でんぱたショップ小牧店 (西尾市吉良町梶見堂38番地2)

取材先農家：花木道明さん (西三河農協農作業受託部会 部会長)

※集合後、収穫を行っている農家の水田へご案内します。取材を希望される報道機関の方は、JA西三河企画課の尾形までご連絡ください。

※雨天等の天候不順の場合には収穫を行わない場合があります。その場合には、事前に取材のご連絡を頂いた報道機関の方にはこちらからご連絡いたします。



【お問い合わせ・ご連絡先】  
JA西三河 (西三河農業協同組合)  
〒445-0073 愛知県西尾市寄住町下田15 企画室企画課 広報担当：尾形怜美  
TEL：0563-56-5214 担当者携帯：070-1414-6818  
HP：http://www.ja-nishimikawa.or.jp/ Eメール：kikaku@ja-nishimikawa.com

※ このニュースリリースは、西尾市の記者室在籍報道機関に発出しています。  
また、同内容をJA西三河ホームページの「報道機関向け資料 (ニュースリリース)」ページにも掲載しています。

# 西尾市の安全・安心な米づくり

## ■ 西尾市の米生産

西尾市では農地集約が進んでおり、多くの水田で米・麦・大豆を2年かけて1作ずつ生産する「ブロックローテーション」を行っています。

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1年目				田植え (下旬から)	田植え				稲刈り		播種 (中旬から)	播種
2年目						収穫	播種				収穫 (下旬から)	収穫

■ 米(コシヒカリ) ■ 麦 ■ 大豆

## ■ 地産地消に向けて「顔が見える商品」をスギ薬局で販売！

市内で収穫された「コシヒカリ」と「あいちのかおり」は、JAブランド米「**矢作の恵**」として市内のAコープや産直店舗等で販売しています。さらに地元企業であるドラッグストアチェーン「スギ薬局」と提携し、2018年産より「愛知県西尾市産こしひかり」、「愛知県西尾市産あいちのかおり」の商品名で販売。

愛知・岐阜・三重・静岡の東海4県・338店舗で取り扱い、地産地消に力を入れています。



## ■ 農業が盛んな西尾市ならではの！

### 「耕畜連携」で「環境にやさしい農業」を实践

耕種サイドと畜産サイドの連携を図り、10年以上前から「環境保全」に努めています。



米や野菜等を生産する耕種農家

堆肥を供給



転作田で生産した飼料作物を家畜の「飼料」として供給



畜産農家

フンをそのまま処分しようとする「産業廃棄物」となるため、市内の酪農家では自分たちの施設で堆肥を作っています。盛んな水稲栽培で家畜ふん堆肥を有効活用し、安全・安心な農産物の提供に貢献しています。

## 【生産者部会情報】

名称：西三河農協農作業受託部会

部会員数：48人（米・麦・大豆の専業農家で組織）

耕作面積：〈米・麦・大豆合計〉4,200畝（延べ面積）  
〈うち米のみ〉 水田1,888畝

収穫時期：8月中旬～9月（コシヒカリ）、9月下旬～10月（あいちのかおり）

西尾市の年間出荷量：9,765ト（うちJA集荷量4,037ト、2019年）

流通：JAのカントリーエレベーターで荷受け後、JAあいち経済連を通して学校給食や県内の量販店、外食産業などへ販売されます。